健康教育

☆ 特集　健康優良児と優良校

健康優良児童及び
健康優良学校の表彰…… 2
日本一健康優良児
小　川　洋　一君…… 4
日本一健康優良校
鎌倉第一小学校…… 6

11月３日文化の佳日に表彰された全国健康優良児
―朝日新聞社屋上において―

（朝日新聞社提供）

NO 17

健康優良児童及び健康優良学校の表彰

東京大学名誉教授
国立東京第一病院長　栗山重信

朝日新聞主催　文部省厚生省後援による全国健康優良学校・優良児童表彰制度が生まれて十年その間表彰審査の重責に当られた審査委員長栗山重信先生からご繁忙の中を特に健康教育推進のために玉稿をいただく。

健康優良児童の表彰が，朝日新聞社主催，文部省，厚生省後援のもとに行なわれるようになったのは，昭和6年からで，昭和26年からは，それに健康優良学校表彰も加えられるようになったのである。

健康優良児童の審査は，全国の小学校の第6学年に在籍する満11才の児童のうちから，一校につき男女各1名が地方審査会に報告せられ，くわしい実地審査の結果，各都道府県で男女各1名が地方代表とせられる。この地方代表には，当人の学校内に於ける過去及び現在の各方面の調査成績，三方面からとった写真，胸部X線写真，家庭の状況，学校及び地域の状況など詳細な書類が添付せられて，中央審査会に報告されて来る。

中央審査会では，この中から綜合的な書類審査の上，男女各10名を選出し，上京を求めて実地審査をすることになる。上京した児童は，二日間にわたって知能，性格，運動能力，身体状況など広範囲な審査を行なう。審査の方針は，新らしい健康の考え方に基づいて肉体的精神的及び社会的に最上の健全さの状態にあるものを目標としておるのである。各種専門の審査委員14名がいろいろ調査した結果を綜合審査し，日本一，準日本一，特選を定める。本年は男女日本一各1名，準日本一男1名女2名となり，特選は男8名，女7名となった。

審査の結果を見ると，地方代表に選ばれた児童の身長，体重，胸囲などの発育値は，ともに過去十年間の統計に較べて同等か幾分上廻っている点がみられる。運動能力も向上している。発育，運動能力ともにそろって水準が高いことが注目せられる。知能，性格の点においても優秀であり，学業その他の教育活動について，それぞれの学校における指導的役割を果しているものが多い。ことに上京を求めた児童において知能の優れていたことが注目せられる。**学校や家庭の健康に対する努力がよくあらわれていることを感ずる。**

健康優良学校の表彰については，児童の健康に対する努力が払われ，それぞれの効果を挙げていられる学校を選出することを目標とした。小学校を17学級以上と16学級以下の二つの組に分けて審査する。都道府県に設けられている地方審査会に応募された小学校の中から，大小各1校宛が各地方の代表校として選出せられ，これが中央審査会に送られて来る。各校ぼう大な資料がついている。検討する項目としては，

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
学校保健委員会	児童保健活動	教職員保健活動	PTA保健活動	地域社会との協力	研究活動	健康診断	結核	学校病 トラホーム	学校病 寄生虫	学校病 ウ歯	学校病 その他	学校伝染病	健康相談

15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
教職員保健管理	学校安全	学校給食	保健厚生施設	学校設備	環境衛生検査	清掃・美化	保健指導	保健学習	教科外活動	保健関係学校行事	精神衛生的活動	体育	虚弱児童などの指導

等各方面から観察して優良なりと思われるものを実地に審査することになる。本年は大の学校，小の学校各6校宛が選出されて実地審査することになった。

実地審査では，児童の朝の集合から夕刻まで日常の教育状況，各種行事を見，また学校各部の設備書類を観察し，児童，職員，父兄等と懇談し，場合によっては地域の保健に関する集会，家庭内の児童の生活状態なども見るようにしている。書類審査，実地審査の結果に就いて中央審査会で討議し，日本一，準日本一，特選を定める。本年は大小の小学校に日本一各1校，準日本一各1校，特選各4校が選ばれた。

健康優良学校の表彰が始められて本年は10回目に当る。学校の職員，児童の自主的の努力があり，家庭、地域社会の協力が加わり，多年に亘って進歩発達して行く様子がよく認められる。

このような学校は，学校の教育の総ての点に就いて全国の小学校に対して指導的役割を果しているように思われる。家庭，地域社会の学校に対して協力があると共に，また学校の保健活動が，家庭及び地域社会の保健活動に反影して，相共にその保健が推進されることが感ぜられる。**健康優良学校の表彰は，我国の教育，保健，安全に大きな影響を及ぼすようになってきていると感ぜられる。**

表彰ということは，多数の中から最も優良なるものを少数表彰するのであるが，その選定は容易でないことが多い。一定のルールによって順次決定して行くより外ない。**表彰は一般に対する奨励の手段である。**そのことによって，多数のものが表彰されたものと同様になり，多数のものが，表彰されることを念願し，遂には全部がその域に達することを希望するのである。**従って最後には，表彰するという形はなくなるのが理想的の域と見てよいのであろう。**

健康優良児童・優良学校

（児　童）

日本一	(男子)	鳥取県米子市立義方小学校	小川 洋一
同	(女子)	大阪市立　育和小学校	奥 香代子
準日本一	(男子)	福岡県福岡市立玉川小学校	田代 啓一
同	(女子)	長野県松本市立田町小学校	塚田 恵子
同	(同)	東京都港区立　鞆江小学校	松宮南美江
特　選	(男子)	兵庫県姫路市立英賀保小学校	中村 忠克
同		和歌山県和歌山市立砂山小学校	西 克治
同		愛知県安城市立安城中部小学校	大脇 茂
同		岡山県岡山市立　福島小学校	犬飼 進
同		新潟県柏崎市立北鯖石小学校	遠藤 進
同		愛媛県松山市立　東雲小学校	日野 正夫
同		秋田県大館市立　城南小学校	戸枝 正樹
同		鹿児島県西之表市立榕城小学校	松元 和夫
特　選	(女子)	群馬県桐生市立　北小学校	長谷川博美
同		熊本県菊池郡合志村立合志小学校	西村 裕子
同		千葉県木更津市立木更津第一小学校	北村 静枝
同		宮城県仙台市立東六番丁小学校	斎藤 真理
同		青森県八戸市立　八戸小学校	日黒千佳子
同		岩手県一関市立狐禅寺小学校	石川 恵美
同		島根県出雲市立　塩冶小学校	布野意美子

（学　校）

★17学級以上

日本一	神奈川県鎌倉市立	第一小学校
準日本一	滋賀県長浜市立	長浜北小学校
特　選	愛知県碧南市立	新川小学校
同	大阪市立	中津小学校
同	石川県輪島市立	河井小学校
同	山口県豊浦郡豊浦町立	小串小学校

★16学級以下

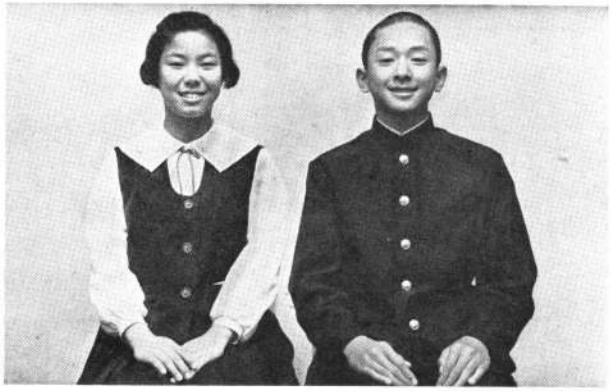
日本一	青森県三戸郡南部町立	相内小学校
準日本一	香川県大川郡大川村立	松尾小学校
特　選	和歌山県橋本市立	清水小学校
同	京都府福知山市立	庵我小学校
同	徳島県名西郡石井町立	藍畑小学校
同	千葉県習志野市立	鷺沼小学校

※特に健康優良児には町村立学校関係は20名中わずか1名に過ぎない。栄養その他都市に比べて町村が立ちおくれているためか。

忘れられないこの光栄

日本一健康優良児の小川君

晴れやかな表彰



日本一の健康優良児，米子市義方小学校六年生小川洋一君は，三日，朝日新聞東京本社講堂で，晴れやかな表彰を受けた。

村山表彰会長は「日本中の六年生の中から，厳密な審査を通って日本一に選ばれたことを心からお祝いします。今後も明るく立派に成長して下さい」とあいさつ，栗山審査委員長は「体も心も，そして社会的にもわれわれの理想に近い立派さだった」と審査経過を述べた。このあと女子日本一になった大阪市育和小六年生奥香代子さんと並んで壇上に立ち，テレビやカメラのフラッシュに囲まれた中で，村山会長から表彰状を受けた。

小川君は男子を代表して「この光栄を一生忘れず，今後もがんばります。ちょっとの間に仲良くなった優良児のお友達といつまでも仲良くしていきます」と明るい声で答辞を述べた。

この日小川君は晴れがましい会場のふんいきに押されてか，やや興奮ぎみ，おかあさんや付きそいの先生たちをハラハラさせていたが，表彰式がすむとホッとしたらしく「きのう雨で飛行機に乗れなかったのが，とても残念です。その代わりに南極に行く宗谷に乗せてもらったから，いいです」と持ち前の明るさに戻っていた。

学校における評価

知能指数　139　学習成績すべて 5，
物事を論理的，科学的に判断し，積極的に仕事を処理し，他から尊敬，親愛され……
米子市，鳥取県大会で走幅とび，水泳50m自由型，100m走に各大会新記録樹立，
身長162.5 体重48.0 身体各部すべて異常なし，

こうした日本一が，どのような家庭で育ち，どのような学校から生まれたか。

私はこうして育てた

小　川　滝　子

私は洋一をあたり前に，普通に育ててきました。親がその子供を育てる道理に従って育ててきただけです。むしろ忙しい家事の中で，子供達を十分にみてやれないのが苦になっていたぐらいでした。

日本一になってうれしいというよりもむしろ意外な感じで一ぱいです。整備された学校，それにましていろいろご指導をいただいた先生やＰＴＡの方々の愛情がみのった栄誉と思っています。

生まれた時は，それほど大きくもなかったんですが，盲腸を切った以外は，これといった病気もせずに育ってきました。

家業が菓子屋ですので，菓子を余りたくさん食べさせることを制限して，好ききらいがないように，また主食より副食，ことに野菜を主としたおかずに重きを置いてやってきました。

家庭では主人が相撲の相手（夕食後）になったり，家族みんなで歌を歌ったりして，健康な明るさを植えつけることに気をつけてきました。

今日栄えある日本一になりましたが，これからどう伸ばしてゆくか，親の責任の重さを強く感じています。

——家庭における留意点 5 ページ参照——

小川洋一君の教育環境

——義方小学校の健康教育——

校長　後藤貞幸

1. 健康教育と新校舎再建

明治6年創立の本校が，昭和19年現鳥取大学医学部の前進である米子医学専門学校創立の犠牲となって校地校舎をこれに提供して，校区外にあった男子高等小学校々舎に全校移転し，昭和28年度までの年間をここで生活。その間校舎の不足不備のため，結核性体質児童の激増，仮性近視児が在籍数の四割近くなったり，学童保健上憂慮すべき事態が起こった。

ＰＴＡはもちろん，校区民は猛然と校地校舎の移転新築のために起こった。苦難な数年を経て昭和27年から建築にかかり，昭和29年度に全校児童が現校舎へ移転を完了した。

健康安全な教育環境設立の悲願の第一歩は達したものの，施設，設備面の充足は今後の事であった。昭和32年5月体育館落成今年9月 3,000坪の運動場が赤土の色も鮮かに完工，続いて遊技設備も整い，昭和33年7月 300万円で25mに16mの水泳プール完工，昭和35年9月，山陰一を誇る完備した給食室の改造を見た。校下父兄よりの寄付金も400万円を越えた。

この間，学童の健康も向上の一路をたどり，昭和32年，33年，34年と健康優良校県一を連続3年間。健康優良児県代表には昭和32年度関都美子，34年度小西俊彦，本年度は待望の日本一小川洋一を出した。

2. 学童の健康を増進させるもの

校地校舎や衛生設備が理想に近いものであったとしても，それだけで学童の健康安全は増進されない。日常の健康安全教育が積み重ねられること以外にはない。学童の健康を願う者達の強い協力態勢と努力が学童の生活に結集され，身につけられねばならない。

本校の場合，父兄の熱意と協力，教師の実践力特に道徳教育を基底にした全人教育への営み。世良，世良田両校医や，遠藤養護教諭の献身的実践，特に鳥取大学村江教授が，毎週火曜日午前中各学級を巡視して，予防衛生の立場から季節毎の保健衛生に関するお話しと健康観察，指導が，8年間も続けられてきたことである。偏食児の指導も2年生を対象に村江教授を中心とした会食の間にも行なってきた。虫歯，寄生虫，結核等の予防，治療対策，積極的体育等の外，低学年児中心に，栄養剤としてカワイ肝油を服用させた歴史も10年以上になる。昭和32年ころは年間25万粒が消費されている。

これら保健事業遂行のためには，保健所の指導はもちろん，家庭の協力が絶対必要なのである。毎月の参観日，春秋2回夜間各所に出かけての町別座談会で父母との教育懇談，ＰＴＡ各種会合での話合い等も効果があった。

3. 今後の願い

健康優良児日本一を出したことは，本校の健康教育推進のために，天与の機会として全校区の健康意識を高めるために，11月17日の参観日を期して第1回義方校健康祭を創設した。全校児童，職員，父兄母姉，関係方面の来賓を招き，小川洋一，ご両親をお客にして日本一を祝福し，これにあやかり，将来お互の健康増進に，健康な学校，健康な町造りへの決意を固めるために。これによって各家庭，各町あげて学校の健康教育への協力体勢を前進させ，学校全児童の健康日本一獲得の道へ出発したい。

家庭における健康留意点

1. 食事栄養について

○偏食をなおす，主食を少なく，おかずを多く。
○主食には麦を混入する。
○魚類には小魚を多くし，骨ごと食べさす。
○特に魚類，野菜に油を配したものを多く。
○楽な姿勢で食事をさせる。食後10分位は談笑する。
○手洗いの励行，食器の消毒。

2. 生活の規律について

○親の生活規律をよくすれば，子供はしぜんによくなるという方針。

3. 体育保健について

○冬のスキー，夏の水泳，登山，キャンプ等学校の保体行事には必ず参加させる。
家からも機会をつくる。
○重量物運搬は営業上必要なのでやらせる。
○相撲・腕立競べなどたびたび行なう。
○腕立伏臥10回屈伸，毎日行なう。

日本一健康優良校

鎌倉第一小学校を訪ねて

大きな学校（17学級以上）で晴れの日本一の表彰を受けた鎌倉第一小学校を訪れ，松岡忠夫校長先生のお話を承わり，校内くまなくご案内をいただいた。

（文責　寺田）

☆　始めにこの栄誉を受けらるるまでのご苦労の一端を

先ず第一に鎌倉は文化人の町で，さぞかし学校経営には苦労でしょうと皆さんから，同情的な質問を受けますが，教育上の問題で，学校であしてもらいたい，こうしてもらいたいとお願いすると，ＰＴＡでは万事気持ちよくかなえて下さる。今度の表彰記念に何かとのことであったが，ピアノ一台ご寄贈いただくことになったが，これも本年度催されたＰＴＡのバザーの益金に不足分を足して下さることになりました。

何事によらず私の信条は和の一念に徹することにあります。こんな仕事にとりくめば先生方も時間外の仕事も多いのであろうが少しの苦情も出ません。仕事の上では校長として一度も困ったことはない。ほんとに先生方の努力，ＰＴＡの努力，子供のすなおさ明るさが今度の表彰になった源泉です。

――見上げると優勝旗，優勝楯，表彰状などに輝やく応接間の正面には『和顔愛語』の扁額が掲げられてある。

☆　教育の方針についての大綱を

本校教育のめあてとして次のような子供を育成することに努力しています。

一，からだに気をつけ，いのちを大切にするこども
一，心はいつも明るく美しくすなおなこども
一，意志が強く積極的に事にあたるこども
一，ものごとを深くつきつめて考え，うまずに研究にはげむこども
一，ともに喜び，ともに泣くことのできる心のあたたかいこども

☆　健康教育の真髄は

からだのことばかりでない。世界保健憲章にも示してあるとおり人間をつくる教育です。からだもよくなり，知能も進み，行いもよくなる。健康管理のみを考えることはまずい。健康教育は，すべての教育の大もとで肉体的なものばかりでなく，知能教育も社会的な教養も伸ばして行く，道徳問題なども健康教育の一貫として考えてきた。いわば教育即健康教育全人教育です。

☆　中央審査を受けられたときの実情はどうでしたか

審査委員長の栗山博士，東大教育学部長の細谷教授，教育大の平井教授，朝日の堀内先生の四人の方が来校されて，終日教科課程や，健康管理，地理，地域社会との関係，その他学校運営の全面にふれて審査がありました。

子供にも聞かれる，ＰＴＡの方々にも質問される，先生方にも求められる，全くウソもない，表裏もない，ありのままのすがたを見ていただきました。

応募したことは中央の立派な先生方から評価してもらうことに価値があるわけで，私達の歩みが間違っているか否かを見ていただくことが目あてであって，表彰は第二義的なものです。教育はキワモノでなく永遠的なもの，継続的なものです。本校には15年以上勤続の先生が半分あまり，いそがしい学校ですが全然転勤の希望もありません。私も昭和８年から24年までつとめ，稲村ケ崎の校長に出て（準日本一の健康優良校をつくり），市の教育庁を経て29年古巣にもどり（32，33年連続準日本一健康優良校），今日に至っていますが結局永く続けることが要諦です。

☆　先生方の健康について

先生方の健康管理が何より大切です。子供を中心に考えるから職員を忘れ勝ちになる。50名に余る職員の健康問題は校長として何より先に頭に入れています。教頭と校長とが一番早く出て，毎朝出される先生方の顔色をまともに見て健康をうかがいます。家庭的な問題なども相談に乗ります。４時半までが勤務の定刻ですので，とく促しては，帰られることを見とどけてから帰宅するのが常です。

職員室が暗くてはいけない。朗らかであること，明るさが第一。このためには前にも述べたとおり和が大切，職員室を明るくすることは校長の責任と思っています。家庭のことは一切家内に任せること，校門をくぐると子供のために励んでもらいます。

☆　子供達の健康管理については

校医は内科３，歯科２，眼科耳鼻科各１，学校薬剤師１で，内科は月１回健康相談，歯科は週２回の実費治療となっているが，いずれも電話一本で気軽に出向いて下さる。

学校とＰＴＡと一体になった学校保健委員会，その下に児童保健委員会があって，月１回の例会で決めたことが実行に移される。

『星の子活動』美化，栽培，飼育，広報赤十字，放送，図書，給食，営繕，体育，保健の校内活動10部。

『星月クラブ』校外活動の組織で，夏の海水浴場でガラスのカケラや空缶を拾ったり，道路の清掃や，あき地の花壇づくりなどの社会奉仕をする。

両部の名は，いずれも校章の星と月とに因めるもの。

△ 校　内　参　観

土曜の授業が終わって子供達の清掃の一とき，軽装にマスクで教室内外，窓ガラスまで手を入れた師弟一如の働き振り。大正時代の古い建物だがきれいに拭き清められて輝くよう。廊下の外側にコンクリートの土間，幅半間のものが教室と併行して造られているが，これは先生方が一昨年来夏休みの奉仕作業であったとか。

中庭の広い泉水池や，珍らしい岩石園（数百の大小岩石が一ぱい——学名をつけて玉砂利の上に建てられてある。）その他，先生方のうるわしい愛情のこもった労作によるものが多い。

社会資料室に隣りした『母と子の部屋』は，ＰＴＡの協力で建てられた室とのことであるが，星の子活動の引継ぎの委員会が行なわれているところであった。

35の教室の後部に張られたクレヨン画の可愛い半身像——1,700 名の全児童の健康アルバムと名づけられた—— この図表は，4月白図をもらって，健康診断で健全とわかった部分に色を塗る。目の悪い子は目が治るまで目の部分は塗れない。寄生虫やウ歯の数，ツベルクリンの反応を示すマークは，胸間に表示するようになっているが，も早やトラホームや，結核の要注意，寄生虫などほとんど見られなくなり，せいぜい歯のマークに色のないのが見られるぐらいまでに子供達の健康状況は進んでいるとのことであった。

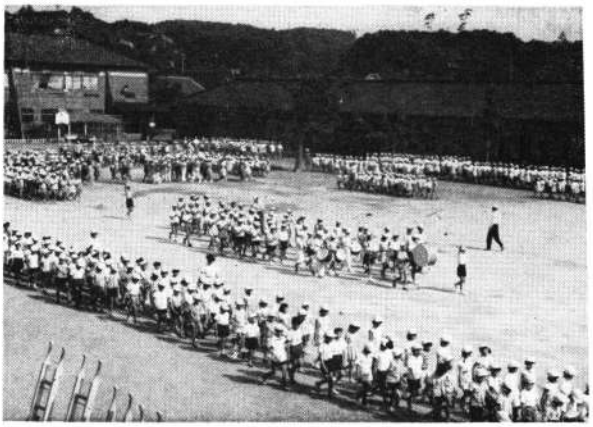
からだに気をつけ，いのちを大切にすることも達の日々の成果がよくうかがわれる。

暗かった教室のケイ光灯の輝きや，150 本の雨傘，50羽の小鳥や 200 匹の金魚を飼うその施設も，お母さま方のバザーの益金や，子供達の毎月一回の廃品回収——家庭の不用品や，空カン，古新聞，古雑誌等，屑屋もビックリするほど山積する——の代金の寄付によってつくり上げられた由。

全教室から集められた紙屑や，はき清められた塵は，校舎裏の風呂場の燃料となってムクムクと煙が上がっているが，これが暑いときの浴用に，冷たいときの清掃用のお湯に利用されている。

はき清められた運動場の周囲には，さまざまの運動用具が都合よく設けられてある。

先生のお話によると一，二年生はハーモニカ，三年以上は全部笛を持っているとのこと，200 人の鼓笛隊を中心に，全校生が一日おきの朝礼にタテ笛とハーモニカの合奏を行ない，



鼓笛のリズムによって，一糸乱れず教室へ繰りこむそうだが，子供たちの元気一ぱいハツラツとしたその壮観を思い浮べて感無量でした。

特選となった輪島市立河井小学校における —職員の保健管理—

児童をあずかる教職員の健康管理こそ学校における一番重要な仕事といわねばならないし，健康な教師の集まりである職員室からは，限りない教育に対する明るく熱情的なエネルギーと，そして正しい方向を持った施策が生まれ，健康学校そのものも生まれてくると思う。この見地より校長は教職員の健康管理につき責任をもって計画し，指導し，推進しなければならない。

○ 要注意者の健康管理と指導

過重過激な作業を減免し，担任授業時間数の考慮，事務分掌の軽減，日宿直を減じ，あるいは免除。また定期受診の便宜をはかる等全員が協力している。昭和29～35年まで要療養，要休養，要注意者は１名もいない。

○ 朝のコーラス

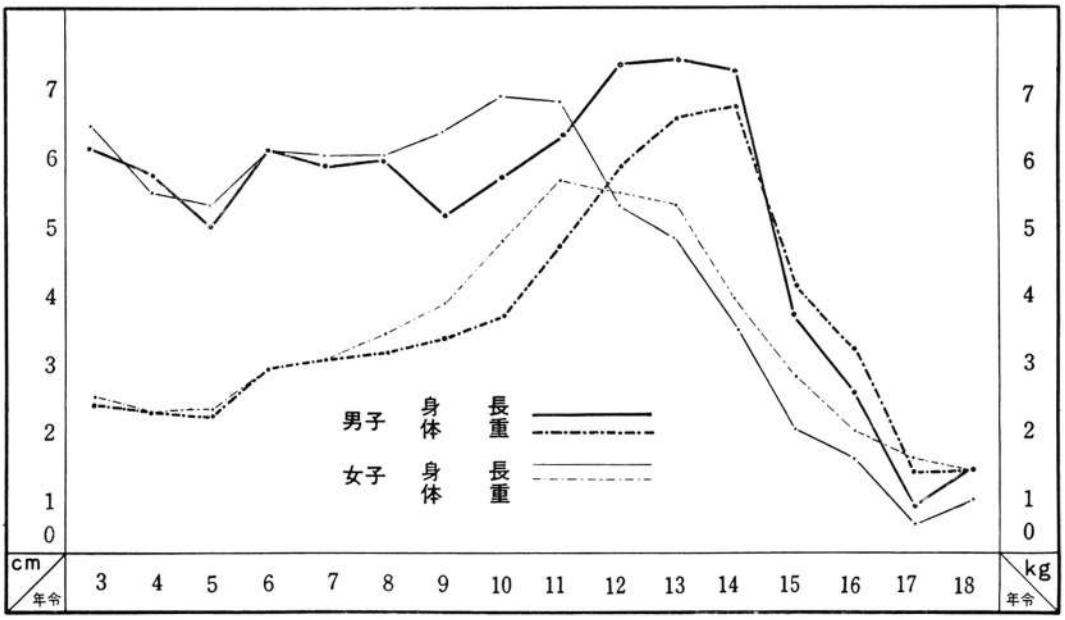
職員朝会の終わりに職員の合唱を行なう。朝のさわやかな気持を一日持ち続けたい，明かるい気持で児童に接したいとの念願から始められたもので，昭和26年から現在まで続いている。

○ 精神衛生

女子職員の多い本校は，明かるい職場作りの責任は女教師にあるとの自覚のもとに，明かるく広やかな職場作りに率先しようと，職場の融和親睦を計る自主的研修活動に努めている。　（保健教育の実践 第3集 から抜すい）

生徒・児童・幼児の各年令別１カ年間の身長・体重発育実数

（昭和33年度・34年度　文部省発表年令別平均より算出）



人生の発育盛りは乳幼児のときから小・中学校を終わるころまでのようです。

特に伸び盛りは，女子は小学校の５・６年，男子は中学校の１・２・３年のときで，10才から14才までが最大です。

体重も身長との相関関係が見られます。

学童の栄養補給には……

消化吸収よき完全乳化
特殊皮膜で効力安定

カワイ肝油ドロップ

（学校用）一粒中ビタミン含量　A　3000国際単位　D　300国際単位
その他燐，カルシウム含有

給食の強化に
水溶性粉末
アドリッチ

1g中ビタミンA 50000国際単位　ビタミンD 5000国際単位

製造発売元　河合製薬株式会社
東京都中野区野方町２丁目　電話 東京(385)3111（代表）

健康教育第十七号
昭和三十五年十二月十五日印刷
昭和三十五年十二月二十日発行
編集兼発行人　寺田佐平
発行所　河合研究所学術部
東京都中野区昭和通二ノ二三
電話東京(361)三七四六・五八九一
定価（一〇円）